**様式第1**（第４条関係）

特定施設設置（使用、変更）届出書

年　　月　　日

　様

届出者

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項（第13条第1項又は第2項、第14条第1項）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場の名称 |  | ※整理番号 |  |
| 工場又は事業場の所在地 |  | ※受理年月日 | 年　　月　　日 |
| 特定施設の種類 |  | ※施設番号 |  |
| △特定施設の構造 | 大気基準適用施設にあっては別紙１、水質基準対象施設にあっては別紙４のとおり。 | ※審査結果 |  |
| △特定施設の使用の方法 | 大気基準適用施設にあっては別紙２、水質基準対象施設にあっては別紙５のとおり。 | ※備　考 |  |
| △発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法 | 大気基準適用施設にあっては別紙３、水質基準対象施設にあっては別紙６のとおり。 |

（連絡先）

（産業分類）

備考　１　特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類特別措置法施行令別表第１、水質基準対象施設にあっては同令別表第２に掲げる号番号及び名称を記載すること。

２　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

３　※印の欄には、記載しないこと。

４ 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

５ 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ４とすること。

**別紙１**

特定施設（大気基準適用施設）の構造

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 | |  |  |
| 特定施設号番号及び名称 | |  |  |
| 型式 | |  |  |
| 施設の設置場所 | |  |  |
| 設置年月日 | | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 工事着手予定年月日 | | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 工事完成予定年月日 | | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 使用開始予定年月日 | | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 規模 | 原料の処理能力（t／h） |  |  |
| 変圧器の定格容量（KVA） |  |  |
| 炉の容量（t） |  |  |
| 焼却能力（kg／h） |  |  |
| 火床面積（m2） |  |  |
| その他参考となるべき事項 | |  |  |

備考　１　設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、　工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

２　規模の欄には、令別表第１に掲げる施設に係る項目について記載すること。

３　特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

**別紙２**

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 | |  |  |
| 使用状況 | １日当たりの使用  時間及び月使用  日数等 | 時～　　　時  　　　　　　日／月 | 時～　　　時  　　　　　　日／月 |
| 季節変動 |  |  |
| 原料及び燃料（ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。） | 種類 |  |  |
| 使用割合 |  |  |
| 原料又は燃料中の  塩素分の成分割合  （％） |  |  |
| １日の使用量 |  |  |
| 排出ガス量 （m3／h） | | 最大　　　　　通常 | 最大　　　　通常 |
| 排 出 ガ ス 温 度　 （℃） | |  |  |
| 排出ガス中の酸素濃度（%） | |  |  |
| 排出ガス中のダイオキシン類の濃度（ng-TEQ/m3） | | 最大　　　　通常 | 最大　　　　通常 |
| その他参考となるべき事項 | |  |  |

備考　１　廃棄物焼却炉にあっては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の　廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。

　　　２　排出ガス量については、温度が零度であって圧力が１気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

　　　３　ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

　　　４　その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載すること。

**別紙３**

発生ガスの処理の方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 名称及び型式 |  |  |
| 発生ガスの処理の内容 |  |  |
| 処理の系統 |  |  |
| 施設の設置場所 |  |  |
| 設置年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 工事着手予定年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 工事完成予定年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| その他参考となるべき事項 |  |  |

備考　１　設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

２　発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。